

# 伊丹市議会3月議会 上原議員が代表質問 3月7日(月)13時～

## 上原議員の代表質問 主旨

### 1. 市長の情勢認識について

- 1) 市長の提案説明「国内外の情勢認識」について
- 2) 9条改憲、「敵基地攻撃能力」「反撃力」と伊丹の自衛隊基地について

### 2. 新型コロナウイルス感染症対策について

- 1) PCR 検査体制について
- 2) 子どもとその関連施設、保護者への対応について

### 3. 気候変動危機の打開に向けて

改めて「気候非常事態宣言」「2050年ゼロカーボンシティ宣言」をすることを求める。

### 4. 教育行政について

- 1) 今年4月から改正民法施行により成年年齢が18歳に引き下げられることについて
- 2) 主権者教育はどのように進んでいるのかについて
- 3) 保育環境評価スケールについて

### 5. 病院統合再編、地域医療体制の整備について

近畿中央病院の跡地を活用した医療機関誘致と兵庫県地域医療構想との関係

### 6. 条例の制定に対して

- 1) 議案第24号 伊丹市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 2) 議案第28号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

## ウクライナ侵略を断固糾弾する ロシアは軍事作戦を直ちに中止せよ 志位委員長が緊急声明

日本共産党の志位和夫委員長は24日、国会内で記者会見し、「ウクライナ侵略を断固糾弾するロシアは軍事作戦を直ちに中止せよ」と題する声明を緊急に発表しました。

声明はロシア、ウクライナをはじめ各国大使館に送りました。(本文は裏面に掲載)

### 藤原伊丹市長は

3月2日、ロシア大統領に対し、ウクライナへの軍事侵攻に対する抗議文を発出し、伊丹市として抗議の意思を表明しました。

また、JR伊丹駅前の「カリヨン」でウクライナ国歌を演奏し、ウクライナへの連帯を表明しました。

(本文裏面掲載)



上原 ひでき  
090-3355-8251



ひさ村 真知子  
090-4491-7521

日本共産党伊丹市議会議員団  
<https://jcp-itami.org/>

日本共産党  
伊丹市議会議員団  
ヒサムラマコ

第395号  
発行  
2022年  
3月3日

伊丹市千僧1-1  
☎784-8114

## 抗議文

ロシア連邦

ウラジミール ウラジーミロヴィチ プーチン 大統領 閣下

このたび、貴国が2月24日、ウクライナへの軍事侵攻を行った。

このことは、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、ウクライナ国民だけでなく、国際社会の平和と秩序、安全を脅かすものとなっている。核兵器の使用を示唆した一連の行為と併せて、断じて容認することはできない。

今回の軍事行動は、市民の犠牲を生み、人権を蹂躪するものである。

また、恒久平和を希求する世界の人々の気持ちを踏みにじるものである。

よって、伊丹市は、「伊丹市平和都市宣言」の理念に基づき、ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に断固抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア軍を即時に無条件で撤退させ、人々の尊い命と平和な暮らしを理不尽に奪う侵略行為を直ちに中止し、国際法に基づく誠意を持った対応を強く求める。

2022年3月2日

日本国 兵庫県 伊丹市長 藤原保幸

## ウクライナ侵略を断固糾弾する ロシアは軍事作戦を直ちに中止せよ

日本共産党中央委員会幹部会委員長 志位和夫

一、ロシアは24日、一方的に「独立」承認したウクライナの東部地域にロシア軍を侵入させるとともに、ウクライナ各地の軍事施設、キエフ、オデッサなどへの攻撃を始めた。これはウクライナの主権と領土を侵し、国連憲章、国際法を踏みにじる、まぎれもない侵略行為であり、断固糾弾する。ただちに軍事行動をやめ、撤退させることを強く求める。国際社会が、ロシアのウクライナ侵略反対の一点で団結し、侵略をやめさせることを呼びかける。

一、プーチン大統領は同日の演説で、今回の軍事行動はウクライナ東部地域の「要請」を受けたもので、国連憲章51条の「集団的自衛」だとしている。しかし、一方的に「独立」を認めた地域・集団との「集団的自衛」など

ありえず、国際法上まったく根拠がない暴論である。

大統領はまた、ウクライナの「脱軍事化、脱ナチス化」を進めるとのべ、東部にとどまらず、ウクライナ全土でロシア軍を展開させる構えを見せている。ロシア国防省はウクライナの各地の軍事施設への攻撃も明らかにした。ウクライナを独立国・主権国家として認めない態度であり、厳しく非難する。

一、プーチン大統領は、この侵略行為にあたって、ロシアが核兵器大国であることを誇示し、欧米の批判や制裁の動きに対抗する姿勢を見せている。核兵器で世界の諸国を威嚇するものであり、今日の世界において、決して許されるものではなく、怒りを込めて糾弾する